

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果より

本年度も中学3年生を対象に調査が実施されましたので調査結果の分析をお伝えします。

①国語について

話すこと、聞くことの力は、千葉県の前年より高く、概ね身に付いていると考えられます。それに対し、我が国の伝統文化に関する事項は千葉県の平均より若干低い結果となりました。改善に向けて、語彙を増やしていくことや知識の定着を図ることが大切になると考えられます。

②数学について

記述式に関する力が例年高い傾向にあります。日頃からの振り返りが習慣となり、学んだことを整理する力がついているものと考えられます。また、数と式の値が高い数値を示しており、こまめに計算練習を行っていたことが高い数値につながったと考えられます。データの活用の結果が低いため、今後、文章問題やデータの活用の問題に多く触れ、文章の要点を理解する力を身に付ける必要があると考えられます。

○全体を通して

①規則正しい生活を心掛ける

起床時間及び就寝時間が規則正しい生徒ほど正答率が高い結果となりました。例年、本校の生徒は就寝時刻にばらつきがあることが特徴として見られます。睡眠時間を確保することは、心身の成長や学校生活を充実させるためにとても大切になります。

②家庭での勉強時間を確保する

家庭での学習時間について、平日、休日問わず(塾等の時間も含む)2時間以上学習をしている生徒は平均正答率が高い傾向となりました。各教科でワーク(問題集)等を副教材で購入しています。こちらをやるだけでも定期テストの成績に良い影響が出てくるかと思います。家庭での学習時間を確保することを大切にしてください。